

SAPOSEN
NEWS

サポセンだより

今月の表紙

寒さも吹き飛ぶ、熱気あふれる鬼ごっこ
第2回スポーツ鬼ごっこフェスティバルinふくしま

令和元年12月15日(日)

「須賀川市スポーツ鬼ごっこ愛好会」が主催する「鬼フェスふくしま」に、県内外から10チーム100名が集い、白熱した試合を繰り広げました。今回は、台風19号で被災したアリーナに代わり第一小学校体育館で開催され、復興のための募金を集めました。

1
特集
市民のチカラ
「NPO法人どあどあの若い力」
・NPO法人どあどあ

サポセン活動報告

- ・要約筆記通訳すかがわ
- ・須賀川市手をつなぐ親の会
- ・点訳・ふれあいの会
- ・NPOはっぴーあいらんど☆ネットワーク

2
特集
台風19号被災者のため
市民活動団体も尽力

- ・須賀川市赤十字奉仕団
- ・つばさ～日中ハーフ支援会
- ・kokoyori

台風19号被災者のため
市民活動団体も尽力1
Topics
須賀川市赤十字奉仕団
チャリティバザー・募金活動

「須賀川市赤十字奉仕団」は、災害救護のために募金活動などを行っています。被災した方を支援するため、チャリティバザーと募金活動を行いました。tetteと空港公園「空のみちウォーク」にて計3回開催し、バザーの収益と募金を義援金として市へ届けました。

また、被災者や災害ボランティアへの豚汁振る舞いや、避難所での傾聴ボランティアなど、被災した方のために精力的に活動しました。

☎ 0248-75-0641(林)

2
Topics
つばさ～日中ハーフ支援会
本格中華料理で多文化交流

「つばさ～日中ハーフ支援会」は、日本と中国の子ども・親の文化交流のため、料理教室や日本語教室などを開催しています。

11月5日(火)には、大東公民館避難所で、麻婆豆腐などをふるまい、温かな手料理で避難者の心を癒しました。

また、10月27日(日)には、大東公民館「海外の料理を学ぼう!」にて講師を務め、ゴマ団子などの本格的な中華料理を参加者に伝授しました。参加した親子は、海外料理に親しみ、おいしく味わいました。

☎ 080-1843-8506(城坂)

3
Topics
kokoyori
こども食堂で楽し

「kokoyori」は、地域の子どもたちのこころとからだを育てるため、様々な体験や居場所を提供しています。

kokoyoriに集まるなかまと一丸となって災害ボランティアとして活動し、kokoyoriハウスではチャリティバザーも開催しています。

10月26日(土)には、「みんなの食堂わらりら」がお世話になっている畑で、収穫体験とBBQを楽しみました。小雨の降る中、参加した子どもも大人も泥んこになりながら、サツマイモや大根などを収穫しました。

☎ 090-6252-2495(熊田)

編集後記
Editor's note

令和2年1月10日(金)、お陰様をもちまして、市民交流センター開館とともに移転したサポセンも1周年を迎えます。たくさんの市民活動団体や利用者と繋がることができました。ありがとうございました。

tetteでは、1周年記念事業をはじめ、様々な形で2年目を盛り上げていきますので、皆さまご協力よろしくお願いいたします。





NPO法人どあどあとは？

すべての子どもたちに対して、子どもたちが素直に成長できるような環境づくり、多世代が連携する地域、社会づくりを目指していく事を目的としています。

写真は10月27日(日)に市内広場で開催されたドローン体験教室

Q
Question
NPO設立のきっかけは？

A
Answer

以前から須賀川地区BBS会というボランティア団体に所属し、法務省や保護司の方々と協力し、少年少女たちに寄り添っていく活動をしてきました。その中で、今年の1月に当時のBBS会長から推薦を受け、内閣府主催の研修会に参加する機会をいただきました。その研修会の中で、NPO法人の必要性、それも特に若者主体での団体が必要だと感じたのが設立のきっかけです。

Q
Question
設立までの大きな出来事は？

A
Answer

設立にあたって、県庁とのやりとり、多くの申請書を作成することに悩み、とても大変でした。理事の方々に助けられ、一人ではできないということで組織があるということに気づきました。また、多くのことを学ぶきっかけになり良い経験になりました。



Q
Question
なぜ今回ドローン教室を開催したのですか？

A
Answer

ドローンを通して高い視点から世界を見ることで、開放感を味わつてもうらため開催しました。親しみのあるスマートを通して自分の視野を広げてくれる、不登校になり心身ともに狭い環境にいる子ども達にも、ぜひこの体験をして欲しいと思っています。



Q
Question
今後の活動の予定は？

A
Answer

地域の子ども達に寄り添うことの必要性を感じて、BBS会の活動などに参加してくれるような若者を育成していきたいです。また、行政や企業とも連携しながら、子ども達の居場所づくりを進めています。



清水 洋助
しみず ようすけ

NPO法人どあどあ代表理事。1996年生まれ。須賀川地区BBS会において子どもの健全育成・非行防止に携わる中で、若者主体のNPOの必要性を感じ、どあどあを設立。

「NPO法人どあどあ」へつながる「BBS会」とは？

BBS会とは、子ども達の健全育成や、非行防止のために活動しているボランティア団体です。NPO法人どあどあには、BBS会に関わったことのある人が多く所属しており、現在は、それぞれサポートしあいながら活動を行っています。本市でも、「須賀川地区BBS会」が活動しています。

法務省更生保護 BBS ↓で検索！



「NPO法人どあどあ」「須賀川地区BBS会」 080-1683-5886(清水)

SAPOSEN ACTIVITY REPORT

サポセン活動報告

01

要約筆記通訳すかがわ 民友愛の事業団「福祉活動奨励賞」を受賞



「要約筆記通訳すかがわ」は、聞こえない人や聞こえにくい人のために、音声を文字にかえて伝える通訳の活動を行っています。

このたび日ごろの地域福祉への貢献が認められ、(公財)福島民友愛の事業団より、福祉活動奨励賞が贈されました。

同会は、tetteで毎月2回学習会を実施しています。

090-2791-3546(奥野)

02

須賀川市手をつなぐ親の会 教育現場の経験から、 発達障がいについて知識や理解を深める



「須賀川市手をつなぐ親の会」では、障がいのある人の地域共生のため、様々な取り組みをしています。

11月16日(土)には、県中教育事務所より講師を招き、教育現場で発達障がいを持つ子どもたちと共に試行錯誤をした経験から、「教育現場における見えないハンディを持つ子どもたちとの関わり」を演題に講演を行いました。

080-5220-5236(長谷部)

03

点訳・ふれあいの会 点字をまなぼう



「点訳・ふれあいの会」は、点訳を通して、情報環境の向上を目指しています。

11月17日(日)に、中央図書館・子ども読書活動推進講座「点字をまなぼう」の講師として、小学生を対象に、点字の仕組みや、書き方、読み方への理解を促しました。

毎月第1・3土曜日AMにtetteで勉強会を行っています。

0248-76-3478(鈴木)

04

NPOはっぴーあいらんど☆ネットワーク 2019はぴフェスを盛大に開催



「NPOはっぴーあいらんど☆ネットワーク」は、震災・原発事故以降の福島に住むことに正面から向き合い未来を考えるために、様々な活動をしています。

11月2日(土)から3日(日)にかけ、「2019はっぴーあいらんどフェスティバル」をtetteで開催しました。演劇プロジェクトや、県内外から出演者が集ったステージ発表、ワークショップなど充実した内容に、多くの来場者で賑わっていました。

090-5237-4312(鈴木)